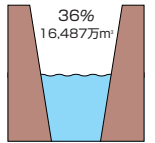


水道だより

No.134

越谷・松伏水道企業団

利根川上流8ダムの貯水量
(平成18年4月1日現在)



2006年 4月号

水道統計

給水人口(平成18年3月1日現在)..... 348,167人
給水世帯数(平成18年3月1日現在)..... 135,832世帯
平成18年3月分1人1日平均配水量 311ℓ



西部配水場に建設中の2号配水池。容量は18,000m³で県営新三郷浄水場から受水する。5月に完成後、西部配水場は36,000m³の貯水容量となり、越谷市北西部から南部地域への配水の中心的役割を担う。

越谷・松伏水道企業団の
ホームページをご覧ください。
<http://www.koshi-matsu.koshigaya.saitama.jp/>
TEL 048-966-3931
FAX 048-963-0706



古利根川沿いのからし菜(松伏町上赤岩)

平成18年度 水道事業基本方針が決まりました

平成18年度は、新たに定めた「水道事業基本計画2006」のスタートの年となります。当企業団の将来像実現への第一歩となる今年度は、計画に掲げる三つの施策の柱に沿って事業推進を図ります。

安全な水の安定給水

配水管の耐震強化策として、腐食等が懸念される大口径管継手部分の試験調査を実施し、必要に応じて補修等を行います。

北部浄水場は、地盤沈下抑制の観点から、本年度末をもって地下水の取水を停止し、老朽化した施設を配水場へと更新するための基本設計を行います。

西部配水場2号配水池が、5月に完成となります。引き続き、西大袋土地区画整理事業地内の幹線配水管の整備を進め、越谷市北部地域の安定供給に努めます。

給水サービスの向上

給水サービス向上策の一つとして、貯水槽を使用せずに安全で良質な水を利用できる「直結給水」を拡大します。ポンプによる増圧を導入し、原則として10階建てまでの建物に、貯水槽を経由せずに給水できるようになります。なお、

貯水槽水道を現在設置している共同住宅等については、引き続き管理責任の徹底を指導していきます。また、「安全でおいしい水」をPRするため、独自の「ボトル水」を製造し、各種イベントに際してPRに努めます。

持続可能な水道事業経営

水道事業の存立基盤である料金収入は、早期に確実に収納することが大切です。よって現年度分から積極的に未納解消を図るとともに、給水停止などの手段も辞さず、未収金の回収に努めます。また、口座振替への切り替えPRを引き続き行い、安定収益の確保と収率向上に努めます。

経営の効率化を図るため、平成22年度までの5年間で期間とした「集中改革プラン」を策定し、経営基盤の強化、効率的な事業運営に努めます。

また、日本水道協会が制定した「水道事業ガイドライン」の業務指標を積極的に活用し、経営状況や施設整備状況等を適切に把握するとともに、これを公表して説明責任を果たしていきます。

【全文をホームページに掲載しています。】



水道事業基本計画2006を策定しました

越谷・松伏水道企業団では、平成18年度を計画のスタートとする「水道事業基本計画2006」を策定しました。

計画期間は平成27年度までの10年間で、策定にあたっては、「お客様意識調査」を実施するとともに、計画を素案の段階から水道だよりやホームページで公表するなど、お客様の意見を反映するよう努めました。

この基本計画2006では、次のⅠ～Ⅲの基本方針を掲げ、理想的な経営を実現させるための施策とスケジュールをまとめています。

●主な施策

Ⅰ. 安全な水の安定給水をめざして

1. 安定給水のための水源確保・施設整備
2. 安定給水のための管理システムの構築
3. 安全な水の供給
4. 災害対策の推進

Ⅱ. 給水サービスの向上をめざして

1. 水圧・水量・水質の適正化・平準化
2. お客様ニーズの把握・施策への反映
3. お客様サービスの向上

Ⅲ. 持続可能な水道事業経営をめざして

1. 経営の効率化
2. 技術の継承・OA化の推進
3. 財政面の安定化
4. 環境への配慮

当企業団では、この基本計画2006を「地域水道ビジョン」と位置づけ、水道のあるべき将来像を実現するため、今後ともお客様と一体となって、いつでも安全な水を安定的に供給できるよう事業経営に努めていきます。

*水道事業基本計画2006は企業団2階管理課またはホームページでご覧いただけます。

■問合せ 管理課経営計画係 内線257

3月議会 結果報告

3月定例議会が3月28日(火)に開かれました。企業長から次の3議案が提出され、原案どおり可決されました。

○越谷・松伏水道企業団職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定につ

いて

○埼玉県市町村職員退職手当組合の規約変更について

○平成18年度越谷・松伏水道企業団水道事業会計予算について

平成18年度 予算のあらまし

【収益的収支】

水道料金は前年度比1,560万円減の73億6,640万円を計上しました。

その他の収益を合わせると76億9,000万円となり、前年度比3,000万円の増加となっています。

年間配水量は前年度比26万 m^3 減の4,084万 m^3 とし、埼玉県企業局から水を購入する受水費は前年度比1,000万円減の24億3,000万円を計上しました。

水を送る費用は、浄・配水場の稼働や水道料金の徴収などにかかるもので、前年度比3,994万円減の19億4,959万円を計上しました。

減価償却費は配水管などの整備にともなうもので、前年度

比3,070万円増の17億3,570万円を計上しました。

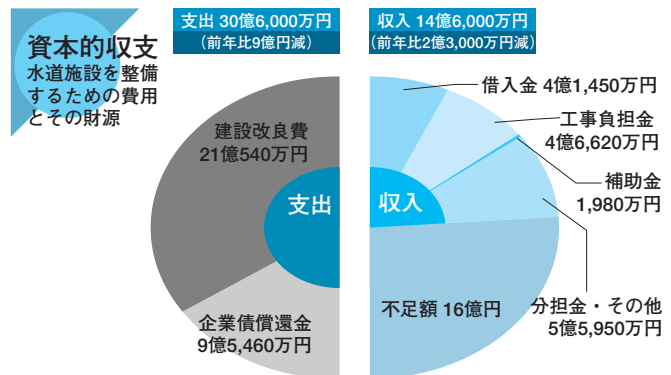
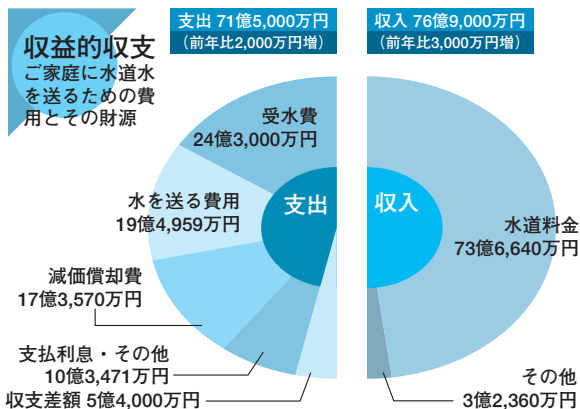
支払利息・その他は、主に国などからの借入金の支払い利息で、前年度比3,924万円増の10億3,471万円を計上しました。

【資本的収支】

配水管の整備などに要する建設改良費は21億540万円を計上しました。西部配水場2号配水池の事業終了などにより前年度比9億2,230万円減となっています。

企業債償還金は、前年度比2,230万円増の9億5,460万円を計上しました。

借入金は配水管整備などに充てるため4億1,450万円を計上。前年度比3億8,550万円の減となっています。その他工事負担金などを合わせると収入総額は前年度比2億3,000万円減の14億6,000万円となります。



業務の予定量	給水戸数	138,100戸	年間配水量	40,844,000 m^3
	1日平均配水量	111,901 m^3	主な建設改良事業	16億4,300万円(老朽管布設替工事等)

上・下水道料金のお支払いは、便利な【口座振替】をご利用しましょう。

今年の
スローガン

第48回水道週間 6月1日(木)～6月7日(水)

「安全とおいしさごくり 水道水」

期間中は、全国で水にまつわるさまざまな催しが行われます。越谷・松伏水道企業団でも次のようなPR事業を行います。

皆さんの参加をお待ちしています。

水をテーマにしたポスターを募集します

応募作品は、越谷・松伏水道企業団ロビーなどに展示します。また、優秀作品を表彰し、水道企業団の広報活動に使用させていただきます。

なお、応募者多数の場合は、一部展示できない場合があります。応募作品は返却いたしません。応募された方には記念品を差し上げます。

■応募作品

【ポスター】 A3サイズ (30cm×42cm程度)

■応募資格

越谷市・松伏町の小・中学生

■応募方法

作品裏面に、郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を記入して水道企業団管理課へ、郵送または直接お持ちください。応募は、1人1点とします。

■応募締切

4月28日(金) 当日までの消印有効

■申込み

〒343-8505 越谷市越ヶ谷三丁目5番22号

越谷・松伏水道企業団管理課「水道週間作品」募集担当

■問合せ

管理課庶務係 内線254・255



水道フェア会場での作品展示

水道フェア開催

■内容 「水をテーマにした作品展示と優秀作品の表彰式典」「ミニ水道教室」「水道相談」などを予定しています。

■日時 6月4日(日) 午前9時～午後3時

■会場 越谷・松伏水道企業団庁舎・駐車場



さまざまな催しを行います(昨年の水道フェア)

水道教室参加者募集

水道について直接見て、聞いて、知っていただくために、ダムや水道施設などを見学していただく「水道教室」を開催します。ふるって、ご参加ください。

●Aコース(バス利用)

期 日: 6月2日(金) 雨天決行

場 所: 浦山ダム(埼玉県秩父市)

対 象: 一般40名

参 加 費: 無料

応募締切: 5月8日(月) 当日までの消印有効

●Bコース(バス利用)

期 日: 7月28日(金) 雨天決行

場 所: ハツ場ダム建設予定地(群馬県吾妻郡長野原町)

対 象: 親子40名(越谷市・松伏町の小・中学生と保護者)

参 加 費: 無料

応募締切: 6月30日(金) 当日までの消印有効

■応募方法

いずれのコースも、はがきに次の事項を記入して申し込んでください。応募者多数の場合は抽選になります。

①希望コース(AまたはB)

②参加者全員の住所、郵便番号、氏名、年齢、電話番号、学年

*はがき1枚につき4人まで申込み可。また、応募は1コースにつき1枚に限らせていただきます。

*2人以上で申込みの場合は必ず代表者を明記してください。

■申込み

〒343-8505 越谷市越ヶ谷三丁目5番22号

越谷・松伏水道企業団管理課 水道教室担当

■問合せ

管理課庶務係 内線254

■今後の水道教室の予定

Cコースは10月27日(金)の予定です。詳しくは、次号の水道だより(7月14日発行予定)でお知らせします。



昨年の水道教室

貯水槽をなくして新鮮な水道水を！ 直結給水を10階まで拡大します

給水サービス向上のため、「直結給水」を拡大します。ブースターポンプを使って増圧し、原則として10階建てまでのマンションなどへ貯水槽を経由せずに給水できるようになります。

定期清掃や検査など貯水槽に関する日常的な管理・作業がなくなり、当企業団がお送りする安全で良質な水道水を、配水管から直接各家庭でご利用いただけます。

新しい建物で直結給水にする場合のほか、既に使用している貯水槽水道方式を変更することも可能です。

*適合要件など詳しくはお問い合わせください。

■問合せ 給水課給水第1係 内線245～248

親水文化サロン

越谷市・松伏町にまつわる文化や施設などをご紹介します。

江戸の華・三ノ宮卯之助 石持ち上げて日本一 越谷出身

越谷・松伏地区には、文化、産業、スポーツなどの各分野で活躍された先人、現在も活動を続けられる方がたくさんおられます。また立派な文化財も数多く残されています。今回は江戸時代後期に“日本一の力持ち”として知られた三ノ宮卯之助を紹介します。

卯之助は、文化4年（1807年）に三野宮（武州岩槻藩領三野宮村、現越谷市）の向佐家に生まれ、48歳で亡くなったとされていますが、詳細な文献資料は残っていません。55年にわたり卯之助研究を続けられている越谷市郷土研究会理事の高崎力さんの労作「四日市大学論集 三ノ宮卯之助の力石・共著」や関係者の伝承から卯之助の活躍ぶりを描いてみましょう。

「力石」とは村の若い衆が持ち上げて力持ちぶりを競った石のこと。50貫（187.5kg）前後の石を持ち上げたというから驚きです。地域の行事や娯楽としての力持ち大会で力を競ったりしました。



三野宮神社の力石(左側)

後に日本一になる卯之助、少年のころは虚弱体質で村の相撲や力持ち大会ではさっぱり。「力なし」「弱虫」と馬鹿にされていました。奮起して夜間や人目につかないところで猛練習に励み、村一番の力持ちになります。十代半ばのころ、家の近くを流れる元荒川で米俵を積んだ舟が浅瀬に乗り上げ、船頭や村人が舟を押しても引いても動きません。この時、卯之助が舟の下に潜り両手両足で舟を持ち上げて少しずつ深みへ押し返し、ついに舟は浅瀬を離れます。この一件が川沿い一帯の評判となり、社会へ出て行く糸口となります。

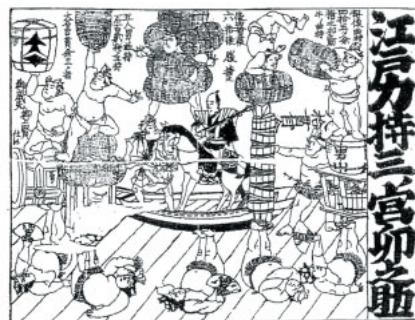


高崎力氏

この話、郷土史家で元大袋村の瀬尾哲太郎村長から聞いた高崎さんが卯之助研究へ進むきっかけになります。昭和26年（1951年）のことでした。以後、卯之助の力石を求め各地の神社の境内、周辺の草むらを手探りで探す苦勞の連続。何年も何回も訪れた鎌倉八幡宮では、あきらめて帰ろうとした夕方、小さな神社で偶然に見つかったこともあります。

さて、瓦曾根（現越谷市）の船着場に就職した卯之助は怪力ぶりが岩槻の剛力者の目にとまり、その方と一座を組んで力石持ち上げ興行の世界へ入って行きます。ま

ず近隣の神社で、いわば力持ちコンクールを演じて、その石の重さ、年月日、持ち上げた人の名前などを刻



力持ち興行の宣伝ポスター

みます。これが後年、研究の手掛かりとなったのです。

越ヶ谷の久伊豆神社では、拝殿右側の台座上に卵型の力石が大事に飾られ、注連縄が巻かれています。石には「奉納 五十貫目 天保二辛卯年四月吉日 三ノ宮卯之助持之 本町 會田権四郎」と刻まれています。卯之助がこの50貫の石を持ち上げ、越ヶ谷本町の會田権四郎が記念に奉納したということです。この日の催しは、江戸で大評判となった卯之助の凱旋興行のようなもので、多くの観衆と奉納金が集まったのでは、と推測されています。その後の江戸深川八幡境内での御上覧（11代將軍家齊）力持ち大会と合わせ、卯之助にとっては特に晴れがましいイベントだったのではないのでしょうか。御上覧には、実に45人の仲間が競演しています。

これまでに発見された力石は卯之助が37個でトップ。岩槻、春日部、川口、戸田、木更津、横浜、鎌倉、大阪、姫路などにあり、三野宮神社の石は半分ほど土に埋まっております。桶川の石は最重量の160貫（610kg）と伝えられています。興行して歩いた距離は姫路往復で最長。御上覧興行も一人だけ。力持ち江戸番付では東方最上位大関になりました。高崎さんは「すべてが日本一」と指摘します。だが、これが仇となったようです。某西国大名の江戸屋敷で大阪方の力持ちと東西決戦が行われ、卯之助が勝って名実共に日本一になります。その夜、屋敷での酒宴を終えての帰路、苦痛を訴えて命を落としたといわれます。毒殺説もありますが、一切謎のままです。生家の向佐いなさんは「戦後、位牌が回って来たこともあり、ご先祖様として供養させていただいております」。



久伊豆神社(越ヶ谷)の力石

卯之助、現代なら重量挙げのチャンピオン。オリンピックに出たら……などと考えてみるのも楽しいですね。